

屋内貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		塗料の製造業							
建築物の構造	階数	1	建築面積	200㎡	延べ面積	200㎡			
	壁	延焼の恐れのある外壁	ALC100mm	柱	鉄骨ラスモルタル	床	鉄筋コンクリート		
		その他の壁	同上	はり	鉄骨	屋根又は上階の床	鉄骨スレート		
	窓	—	出入口	特定防火設備 (防火戸)	階段	—	軒高	4.0m	
建築物の一部に貯蔵所を設ける場合の建築物の構造		階数	—	建築面積	—㎡	延べ面積	—㎡		
建築物の構造概要		—							
架台の構造		鉄製(高さ2m)アンカーボルトで固定							
採光、照明設備		安全増防爆型蛍光灯 40W 20本							
換気、排出の設備		換気 ガラリ(引火防止網付)2カ所 排出 ベンチレーター(安増) 2基							
電気設備		電気設備に関する技術基準を定める省令により施工							
避雷設備		独立避雷針1基(JIS A4201 2003)							
通風、冷房装置等の設備		—							
消火設備		第3種二酸化炭素消火設備(全域)1基 第4種ABC粉末20kg1本 第5種ABC粉末3.5kg5本							
警報設備		自動火災報知設備							
工事請負者住所氏名		〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 〇〇株式会社 〇〇〇〇 電話 〇〇〇〇-〇〇〇〇							

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 建築物の一部に貯蔵所を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。